



# 地域支援センター「みみらんど・郡山」

## 平成26年度 きこえとことばの基本研修会

### 第2回「聴覚障がい児の指導における配慮について」

平成26年6月17日（火） 講師：地域支援センター 宗形いづみ



#### 【主な研修内容】

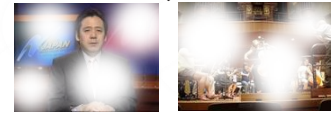
- ☆聞こえにくさの体験
- ☆聞こえにくさへのさまざまな配慮

#### 聞こえのシミュレーション

- 普通の聞こえ
- 30デシベル聞こえにくいと...
- 90デシベルの聞こえ
- 高音の入らない子どもの聞こえ



普通の聞こえを視覚的に表現したもの



高音が入らずはっきり聞こえない状況を視覚的に表現したもの

### 聞こえにくさへの配慮

#### ① 補聴器や人工内耳は大丈夫？

- ・電池切れ、イヤモールド、チューブ、フック等の汚れや故障がないか。聞こえ方も確認！

#### ② 聞こえる・見える環境を！

- ・FM補聴器を活用すると教師の声がはっきり聞こえます。



- ・机やいすの脚にテニスボールを装着（雑音の軽減）
- ・座席の位置：馬蹄形
- ・教師の位置：逆光を避け顔や口元を明るく



#### ③ 子どもの確かな実態把握

→ 「分かる・分かりやすい授業」の創造

#### ④ 話す声の大きさ、速度

書きながら聴くことの困難さ  
板書、手話や指文字、視覚的教材の活用  
グループや屋外での学習の配慮 など

#### ⑤ 聞こえること ⇐ 言葉が分かる

特に幼児期では友達の行動をまねていることも！分かったかどうかの確認が大切

#### ⑥ 教科指導では・・・

教科のねらいの達成と日本語による定着  
自立活動的な配慮  
教師の説明は最小限に、思考させ自分の言葉で表現させること

#### 参加者の感想

- ・呼びかけに反応するので分かっていると思っていましたが、言葉を理解しているとは限らないことを知り、ドキッとしました。確認をしていきたいと思います。
- ・授業の中でいろいろな表現を意識して使ったり、言語活動を大切にしたい授業を心がけていきたいと思います。

